

カロプト

第64回全道へき地複式教育研究大会宗谷プレ大会猿払分科会日より



事務局：浜鬼志別小学校
01635-2-3253 2-3285
2014. 9. 12 No3

★第3号は、浅茅野小・芦野小・浜猿払小の集合学習（はまなす学校）の様子を紹介します。

★浅茅野・芦野は酪農地域、浜猿払は今年度限りで閉校となる漁業地域です。3校合わせて26名の児童が取り組む合同学習です。

▼4月にはまなす3校での総会を行い、今年のはまなす学校が開校し集会が行われました。そして低中高ブロックに分かれ授業がスタートしました。6月にはマラソン大会を行い、夏の水泳授業も終わったところです。

▼先日は、はまなす音楽の1回目が行われました。各校で練習を積んできたので、集まった時には、いい感じで演奏や歌を楽しむことができました。みんなが集まる事によって、児童の頑張りが、大きく輝くことが期待されます。

▼はまなす体育は、これからの取り組みになります。（全7時間）複数の教師で、児童の様子に目を配り、普段取り組めない人数でのバスケットボールです。集団のまとまりとしての活動が出来ればと思います。

▼比較的近い距離とはいえ、スクールバスでの集合に10分はかかる場所であり、時間のやりくりや教師の打ち合わせには一苦労です。ここまで、メールや電話のやり取りをしながら進めてきました。連携不足も否めない中ですが、各教師が出来る範囲で精一杯取り組み、集合学習を通して児童の変容にせまれればと思っています。

全体研究発表者：猿払村立芦野小学校 氏家 資年

今回、会場となる浜猿払小学校は、今年度で閉校となり、106年の歴史に終止符を打ちます。はまなす学校の活動は、「人間性豊かな体験の場」「力をつけ、磨きあえる学習の場」として、本校の教育活動の中でも重要な活動に位置づけられてきました。

今回の授業では、メイン・サブの違いはありますが、全教員が一丸となって主体的に指導にあたるはまなす学校伝統の良さ、そしてただ単に集まっただけではなく、人数が少なくても発達の段階に応じた教育活動になるように留意していること、この2点を見ていただければと思います。

私は、今年で5年目になります。4年前、はまなす学校にいた先生方は皆さん異動して残っているのは私だけになりました。今まではまなす学校のために力を尽くしてきた先生方の顔を思い浮かべつつ、過去の先生方のはまなすへの熱い思いを背負って授業に臨みたいと考えています。

猿払村立浜猿払小学校 長江 宣明



はまなす3校の音楽の授業は、2部合唱「切手のないおくりもの」、リコーダーと鍵盤ハーモニカの4部合奏『ひこうき雲』を公開します。3校の児童全員で音楽の授業をするのは今年度が初めてです。先日行われた1回目の集合学習では、たくさんの仲間の歌声につられ、いつもより大きな口を開けて歌う様子や、パートごとに集まって丸くなり、流れてくる伴奏に合わせて自然と合奏する様子が見られました。いつもはなかなかできないたくさんの仲間との交流を通して、音楽活動を楽しみ、表現の能力を高められるようにしていきたいです。

浅茅野小学校11名、芦野小学校10名、浜猿払小学校5名が声を合わせ、気持ちを合わせ、楽しみながら音楽の学習ができるよう、3校の教職員も頑張ります。

猿払村立浅茅野小学校 高橋和佳子

